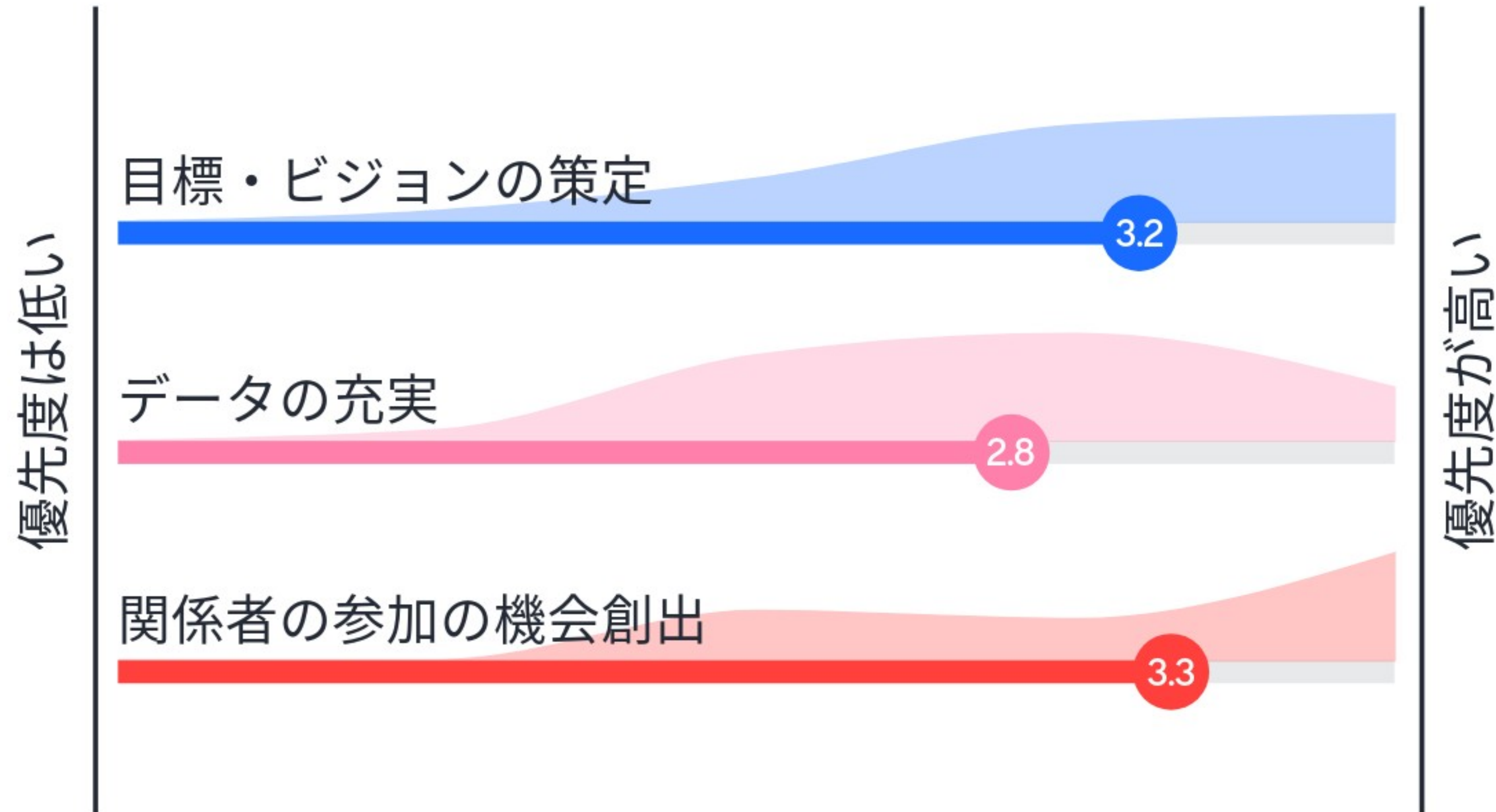


第3回 江戸前勉強会の書き込みサイト

このページは、江戸前勉強会のワークショップで、皆さまからの意見を投稿していただくために準備したものです。勉強会が始まりましたら、書き込めるページに進みます。

保全と開発のバランスを実現するために 優先度の高いものは？



関係者の参加の機会創出に尽力すべき人は？

マスコミの情報発信が影響が大きいと感じています

漁業者、海洋土木技術者、若者、海で遊ぶ人

政策決定を行うような行政側の幹部（事務側）

政治家？

海を実際に生業・活動している人
（漁師、海運業、港湾代理店、ウィンドサーフィン、SUP、ビーチクリーン等）

行政&デベロッパー

政策決定者

企業

インフルエンサー

関係者の参加の機会創出に尽力すべき人は？

研究者

東京湾に興味のない一般人

東京湾を愛する市民、権限のある行政人、東京湾を活用している人

最終的にはごくごく一般人そのためにも、さまざまなイベントを行ったりするために、CSRを通じて出資してくれる企業？

埋立地に住んでいる市民

環境と経済のバランスにおいて経済ばかりを優先させる人

お金持ち

マスコミの方は、今SDGsですね

小・中学生や沿岸のマンションの住民、漁業者→データ（環境データと生物データ）採取に参加してもらおう

関係者の参加の機会創出に尽力すべき人は？

沿岸部の住民

海から遠い人も大切

漁業者、行政、研究者、市民、学生

自分時間を持てる人

理想を持てる人

ボランティアでは難しい

日本人は、もっと積極的に参加して、自分を語る楽しみに気が付く必要があります。だから、恥ずかしがりの日本人を巻き込む人財が必要です。

公務員としての漁業者が居ても良いのではないのでしょうか。

関係者の参加の機会創出すべき人と役割 を考えてみましょう！

若い漁業者

公的な「東京湾研究所」のようなものが必要ではないでしょうか（省庁横断的なもの？）。

爺婆は、楽しかったことを孫に語る、親は子供を海へ連れ出して獲れたものを料理して食べさせる、子供たちは、楽しかったことを友達に語る。

屋形船とか海のマリンアクティビティを充実させるのはどうですか？

東京湾ハウスぐらいがいいでしょうか。

お疲れ様です！今日初めて参加をさせていただきました！学びたい人は学び、遊びたい人は遊べるような、活動の場が必要なのだと思います。その活動の場には、アクティビティに応じた専門家とインタープリテーションができる方が必要で、SDGsのベンチャービジネスとして行いたい若い方（大学や博物館等で活動したい人）を募っていく場と、それをオーソライズする場があるとよいと思います。